

平成 17 年 3 月 29 日

各 位

株式会社 埼玉りそな銀行
日本政策投資銀行

埼玉りそな銀行、日本政策投資銀行と新株予約権付き協調融資を実施

りそなグループの埼玉りそな銀行（社長 利根 忠博）及び日本政策投資銀行（総裁 小村 武）は、このたびファーストゲート株式会社（社長 土肥 猛）の行う開発投資に対して、新株予約権付き融資を協調で実施いたしました。

埼玉りそな銀行では、「リレーションシップバンキングの機能強化計画」の中で、創業・新事業支援機能等の強化を目標に掲げており、その一環として平成 15 年 10 月に日本政策投資銀行と業務協力協定を締結しております。本件は埼玉りそな銀行新事業支援室が関与する、新事業支援ファンド「埼玉りそな V ファンド（融資）」の新株予約権付き融資を活用し、日本政策投資銀行との協調案件として取り組んだものであり、埼玉県内金融機関では初めての協調融資方式での新株予約権付き融資となります。

ファーストゲート株式会社は、平成 12 年に土肥 猛 社長により設立された半導体製造装置の輸出入販売業です。国内大手の半導体製造装置メーカーでの勤務経験を生かし、海外メーカーとの販売提携を始め、本社内にクリーンルームを有し、リファービッシュ事業（中古装置の再生、改造、据付、調整等）も手掛けるなど、国内半導体メーカーの高度な要求に高いレベルで応えることで着実に業績進展を果たしている、技術集団の半導体商社です。

今般の融資は、半導体ウエハーの大型化に伴い問題となってきた製造途中に生じる塵の発生を防ぐための装置販売に係わる開発投資であり、ドライ工程で除去する装置としては世界初の装置となります。

埼玉りそな銀行及び日本政策投資銀行は、引き続き我が国産業の創出・活性化を推進し、独自の高い技術力により成長性が高いと見込まれるベンチャー企業などに対し、多様な資金調達手段の提供を行うべく、更に連携を強化してまいります。

< 新株予約権付き協調融資の概要 >

- | | |
|----------|--|
| 1. 実行日 | 平成 17 年 3 月 22 日 |
| 2. 融資金額 | 20 百万円（内、埼玉りそな銀行 10 百万円、日本政策投資銀行 10 百万円） |
| 3. 融資期間 | 3 年 |
| 4. 新株予約権 | 本件融資実行と同時に新株予約権の割当を受ける |

< 融資先概要 >

- | | |
|---------|--|
| 1. 会社名 | ファーストゲート株式会社 |
| 2. 設立 | 平成 12 年 8 月 |
| 3. 所在地 | 埼玉県戸田市新曽柳原 1011 |
| 4. 資本金 | 62.5 百万円 |
| 5. 社長 | 土肥 猛 |
| 6. 事業内容 | 半導体製造装置の輸出入、リファービッシュ事業
詳細は HP をご参照ください。 URL : http://www.fastgate.co.jp |

以上